## <対策のポイント>

農業の成長産業化を実現するためには、近年、技術発展の著しいロボット・A I・I o T等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を図ることが 急務です。このため、先端技術を生産から出荷まで体系的に組み立て、一貫した形で実証研究を行い、データの分析・解析を通じ、最適な技術体系を確立する取組を支援します。

#### <政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [平成37年まで]

## く事業の内容>

#### 1. スマート実証農場等の整備・実証

○ 実用化・量産化の手前にあるロボット・A I・I o T等の要素技術を、大規模水田、超低コスト輸出用米、露地野菜等の営農類型ごとに**生産から出荷まで体系的に組み立てた「スマート実証農場」を整備**しデータ収集等を行います。スマート実証農場は、先進的な技術体系を農業者等が**見られる・試せる・体験できる場**として提供します。

## 2. データ分析・解析を通じた技術の最適化

○ 農研機構が、スマート実証農場における**実証計画やデータ収集等への助言・指導**を行うほか、収集したデータを基に**技術面・経営面から分析・解析**を行います。分析・解析結果を踏まえ、スマート実証農場における**最適な技術体系の検討**を行います。

## <事業の流れ>



委託

民間団体等

# く事業イメージン

### スマート実証農場の例(大規模水田作)

耕起•整地

経営管理





経営管理システム

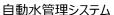
自動走行トラクター

自動運転田植機

収穫

#### 水管理







栽培管理

ドローンを活用したリモートセンシング



収量コンバインによる 適切な栽培管理

データを基に技術面及び経営面で分析・解析、最適な技術体系の検討

#### 先端技術導入による最適な技術体系の確立

[お問い合わせ先] 農林水産技術会議事務局研究推進課(03-6744-7043)